

環境学習「第21回 地球温暖化とゴミ問題2017」



マイボトルの利用



※「いらすとや」の環境問題イラストより

山 形 県
米沢中央高等学校
(2018年2月)





第5回グッドライフアワード

実行委員会特別賞
子どもと親子のエコ未来賞

取組名 **CO₂を重さに換算して実感
地球温暖化とゴミ問題
20年間の取組**

学校法人 椎野学園 米沢中央高等学校 殿

あなたの取組は
『第5回グッドライフアワード』における審査の結果
高く評価されました
よってここにその栄誉をたたえ表彰いたします

平成29年12月9日
グッドライフアワード実行委員会
委員長 **益田文和**

環境省
Ministry of the Environment

環境学習「第21回 地球温暖化とゴミ問題2017」

目 次

1. 調査資料の集計.....	1
2. 一人当たりの二酸化炭素排出量.....	3
3. 包装容器の消費量.....	5
4. 家族形態別の二酸化炭素排出量の比較.....	5
5. まとめ.....	7
6. 温暖化の弊害.....	8
7. 感謝とお願い.....	8
8. 提 言.....	8
9. 引用文献.....	8
10. マークシート調査票.....	9
11. 生徒および保護者のコメント.....	11

環境学習「第21回 地球温暖化とゴミ問題2017」

◆二酸化炭素排出削減を意識した生活習慣を確立しよう

本環境学習「地球温暖化とゴミ問題」は環境大臣表彰、環境やまがた大賞等を受け、これまで継続されてきました。品目ごとの排出係数をかけることにより、日常生活から排出される二酸化炭素が重さに換算される、われわれが二酸化炭素の排出を意識するにはこの方法しかありません。本校はこの移り変わりを20年まとめてきて、この度、第5回グッドライフアワード実行委員会特別賞を受賞しました。

二酸化炭素を削減するのはなかなか難しいのですが、地球環境保全のためにまず現状を認識し、生活の中でどうするべきなのかを考えていきましょう。

◆増え続ける家庭部門における二酸化炭素排出

1997年12月に京都議定書が採択され、1990年を基準年として、この年の温室効果ガス排出量(12億7,400万トン:算定方法の改定があったのか、以前より増えている)から6%削減することが数値目標として設定されました(これまでのところこの目標は達成されていない)。最新の本邦における温室効果ガス排出量は、2015年度の実報値によると、総排出量において基準年比 +4.0% の13億2,500万トンとなっており、この大部分を占める二酸化炭素の排出量は基準年の11億6,200万トンから12億2,700万トンへと増加しています(同比 +5.6%)。この中の家庭部門(家庭での冷暖房・給湯、家電の使用等)は1億7,900万トン(14.6%)、また、国土交通省が発表した2015年度の自家用乗用車による排出量は1億12万トン(8.2%)で、合わせて22.8%となっており、工場等の産業部門(4億1,100万トン:33.5%)に次いで大きな割合を占めています。産業部門は様々な技術革新により同比 -18.1%(9,100万トン減少)となっているものの、家庭部門では、同比 +36.6%(4,800万トン)という大幅な増加となっています(環境省、国土交通省2017)。

◆全校平均は昨年より0.9kg 増加、そして、世界の年平均気温は依然上がり続けている

今年度の夏休み一ヶ月間における本校の一人当たりの二酸化炭素排出量は、昨年の151.2kgから0.9kg(0.6%)増加し、152.1kgとなりました。

気象庁が今年2月7日に発表した2017年の世界の年平均気温(陸域における地表付近の気温と海面水温の平均)の1981~2010年平均基準における偏差は、+0.38℃(20世紀平均基準における偏差は+0.74℃)で、1891年の統計開始以降、3番目に高い値となったということです(気象庁2017)。

はじめに

本校の環境学習「地球温暖化とゴミ問題」は夏休み一ヶ月間に各家庭で使用する電力、水道、ガス、灯油、ガソリン、軽油の使用量、包装容器のアルミ缶、牛乳パック、ガラス瓶、ペットボトル、スチール缶、食品トレーの個数をそれぞれ二酸化炭素排出量(kg)に換算し、各家庭におけるその合計を家族人数で割って、一人当たり一ヶ月間の二酸化炭素排出量(kg)を求めるという内容です。1997年から始まり、今年度は21回目を迎えました。結果を得るための実践活動を伴うことから、2003年からは総合学習の授業時数のうち7時間分として組み込まれ、2005年からは全学年が取り組んでいます。生徒だけではなく家族全員がこの課題に関わります。そのような意味で、今回の参加人数は総勢2,923名に達します。この冊子で報告する二酸化炭素排出量の結果と生徒および保護者の感想・コメント(268件)を家族みなさんに読んでいただいて、毎日の生活を点検し、改善していくヒントになれば幸いです。

1. 調査資料の集計

提出数は、全校生徒の99.8%にあたる612名であった。残りの0.2%は、残念ながら夏休み中の調査に不備があり、再提出すべきところが結果として未提出となってしまった。この生徒は冬休みに同様の調査を行ったが、季節が異なることから、ここでの集計には加えなかった。

家族人数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	15人	合計
提出数	1	29	100	177	140	91	49	13	3	9	612
有効数	0	27	86	144	119	75	41	10	2	1	505

家族人数毎の提出数と有効数を上表にまとめた。有効率(有効数／提出数)は82.5%であった(図1)。無効とする考え方と今年度のそれぞれの該当数を以下に示す。

- ①兄弟姉妹(21組)で通学しているため同一内容の調査結果となったのは、1枚だけ有効:無効21名
本項目は昨年より9名増加した。
- ②同一場所に下宿しているため、同一内容となったのは、1枚だけ有効:無効8名
- ③自営業(商店、事業所、農業など)の場合:無効44名

自営業あるいは仕事で使用している電力やガソリン、軽油等の燃料を普通の家庭生活での使用量から分離することが不可能な場合、調査の目的が家庭における二酸化炭素排出量を調べることなので、きちんと調べていても無効とせざるを得ない。本項目は昨年より23名増加した。

- ④電力消費量が未記入:無効12名

電力は二酸化炭素排出量の比率も大きく、また、電力消費のない家庭は考えられない。本項目は昨年より5名増加した。

- ⑤調査期間が20日未満:無効2名

ゴミの数量記入があり、期間は同じ条件にする必要がある。

- ⑥ガソリンやガスなどエネルギー関連あるいは包装容器のデータが未記入、あるいは不完全:無効16名
昨年より5名減った。データの正確性、信用性を欠いているものは無効である。

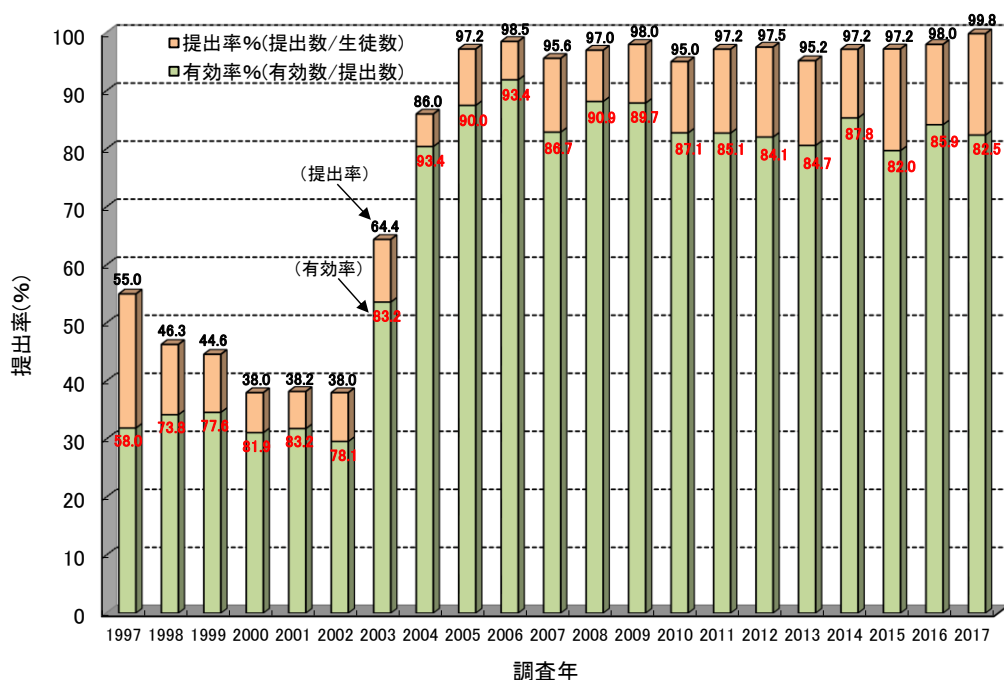


図1. CO₂排出量調査の提出率と有効率

⑦調査値が異常であるもの、通常の生活では不可能と考えられる値：無効2名

⑧他人の調査結果を写したもの：無効2名

以上合計107名が無効となった。このうち兄弟姉妹と同一場所での下宿、さらに自営業については仕方がないといえる。無効数は昨年より24件増加したが、この中で自営業（商店、事業所、農業など）が23件増加した。この項目の見極めが最も重要であり、且つ難しいところである。

今年も他人の調査シートを写した者が2名いたことは残念であった。しかし、それ以外の大部分は努力目標を設定してきちんと二酸化炭素排出量が算出されていた。そして、kg単位で示された結果を見て、その多さにおどろき、排出量削減の意識を改めて強くしたという感想が多かった。

おもな感想文268件を巻末に掲載したので、読んでいただきたい。

2. 一人当たりの二酸化炭素排出量

夏休み期間における一人当たり一ヶ月間の二酸化炭素排出量は、最小が29.5kg、最大は420.0kgとなり、平均は昨年の151.2kgを0.9kg上回る152.1kgとなった。度数分布は100kg以上150kg未満が162件（有効数の32.1%）で最も多い。今年是有効数が昨年と同数であったが、100kg以上150kg未満は昨年の180件に対して18件（10.0%）減少し、150kg以上200kg未満も昨年の150件に対して今年は144件で、

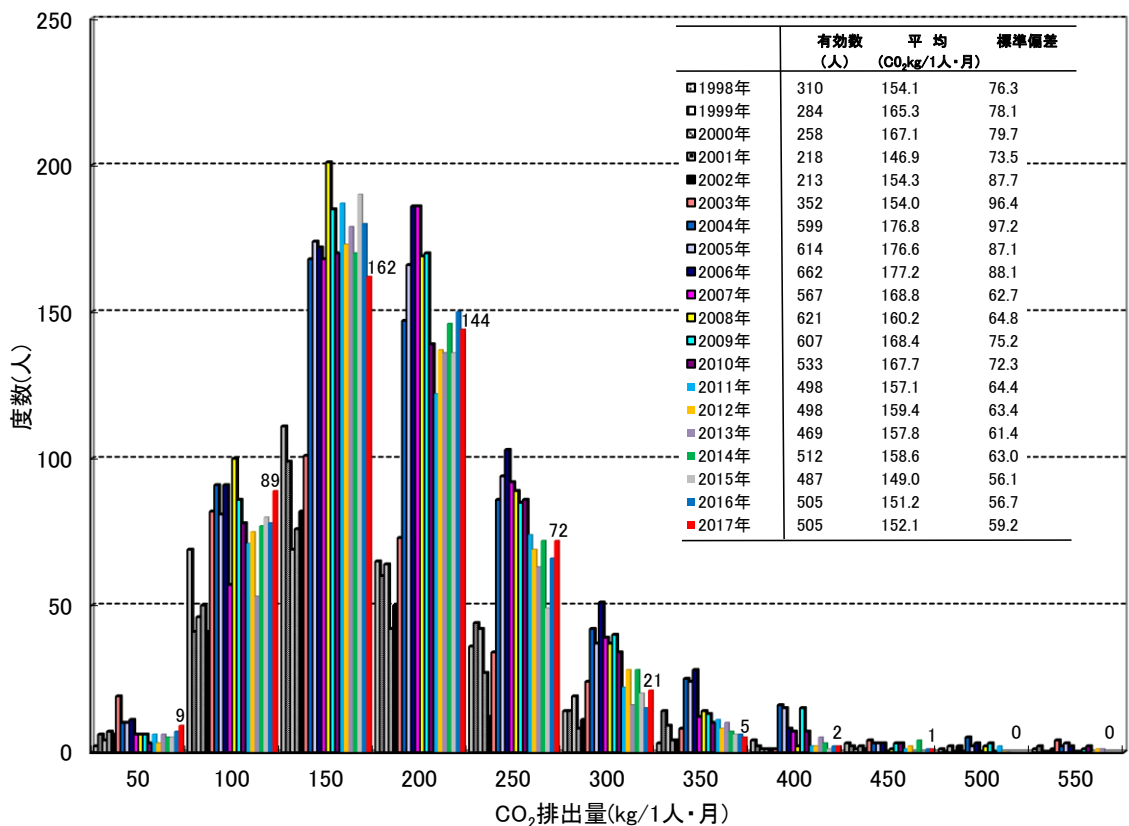


図2. CO₂排出量の度数分布

6件(4.0%)減少した。それに対して200kg以上の件数は、合わせて昨年の90件に対して、101件と11件増加し、100kg未満も50kg未満と合わせて昨年の85件から98件へ13件増えたので、結果として100kg以上200kg未満の度数が減少し、両サイドが増加する形となり、平均が0.9kgの増加に止まった(図2)。

つぎに平均値に占める消費品目別排出量の比率を見ると(図3)、最も大きいのはガソリンであり、次いで電力、灯油、ガス、軽油、水道の順になっている。ガソリン45.13%、軽油3.56%を合わせて48.69%となり、自家用車からの排出量比率が大きいのは相変わらずである。また、電力30.22%、灯油12.26%、ガス4.62%、水道1.87%を合わせて48.97%となる。これは、照明や冷房、調理、入浴、洗濯などの生活維持に関わる二酸化炭素排出量比率である。包装容器は合わせて2.34%に過ぎない。

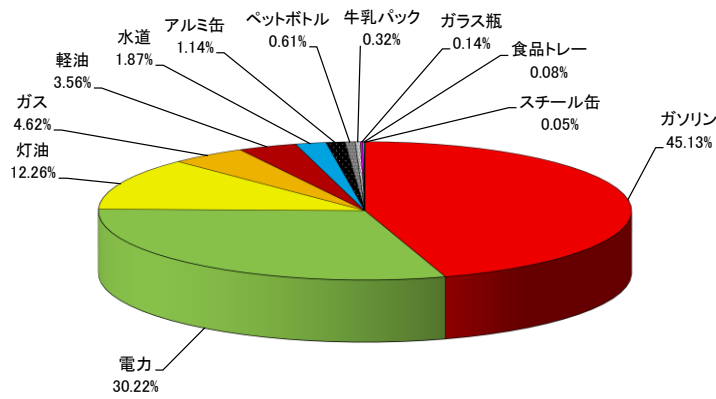


図3. 消費品目別CO₂排出量比率(2017年)

水道と包装容器類を除いた一人当たりヶ月間のエネルギー5品目毎の二酸化炭素排出量の合計は143.87kgとなり、昨年より2.37kg増加した(図4)。品目毎に昨年と比較すると、軽油とガスがそれぞれ3.07kg、0.29kgで計3.36kg増加し、ガソリンと灯油、電力はそれぞれ0.72kg、0.25kg、0.02kgで計0.99kg減少した。今年度は軽油以外の4品目はほとんど変化なく、横ばいあるいは僅かな減少であったが、軽油のみが突出して増加に転じた。

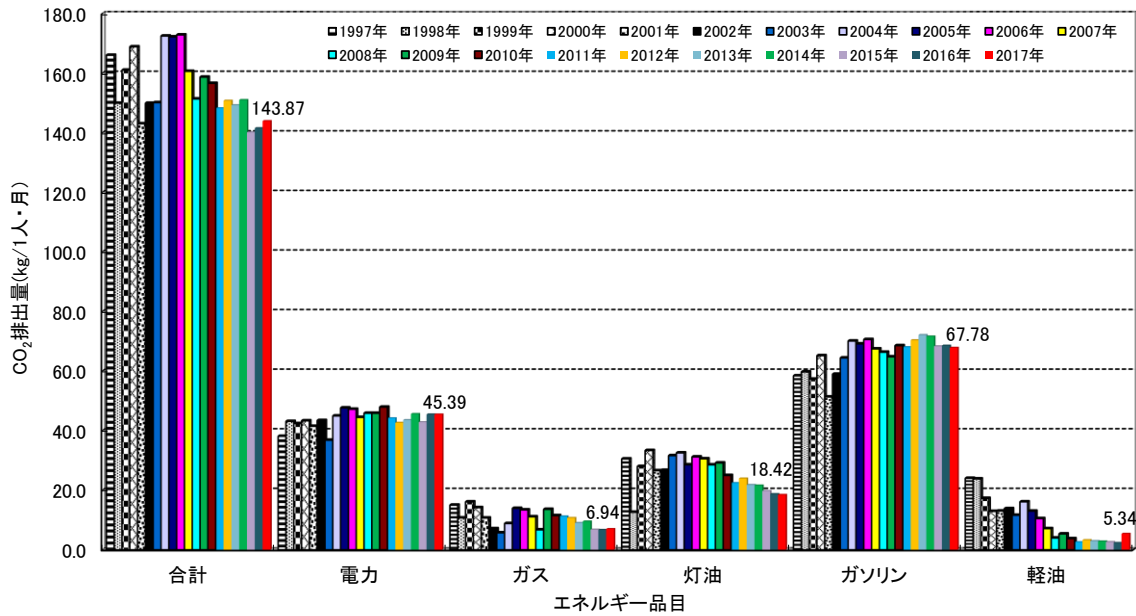


図4. エネルギー品目毎のCO₂排出量の比較

3. 包装容器の消費量

一人当たり一ヶ月間の各種包装容器類の消費量を昨年と比較すると(図5), 増加したのはアルミ缶が0.9個, ペットボトルが0.2個, 食品トレーが0.1個であった。また, 減少したのは牛乳パックが0.3個, スチール缶が0.1個であった。ガラス瓶は変化がなかった。結局, 一人当たり一ヶ月間の消費量合計は昨年より0.9個増加し40.4個となった。40個を超えたのは今回が初めてである。これを調査日数31日で割ると, 一人当たり毎日約1.3個消費していることになる。図5を見ると, ガラス瓶の横ばい傾向, 牛乳パックとスチール缶の減少傾向, アルミ缶とペットボトルの増加傾向が認められる。また, 食品トレーは減少から増加に転じているようである。これらの包装容器類は環境ホルモンや不法投棄による汚染, さらに景観問題など

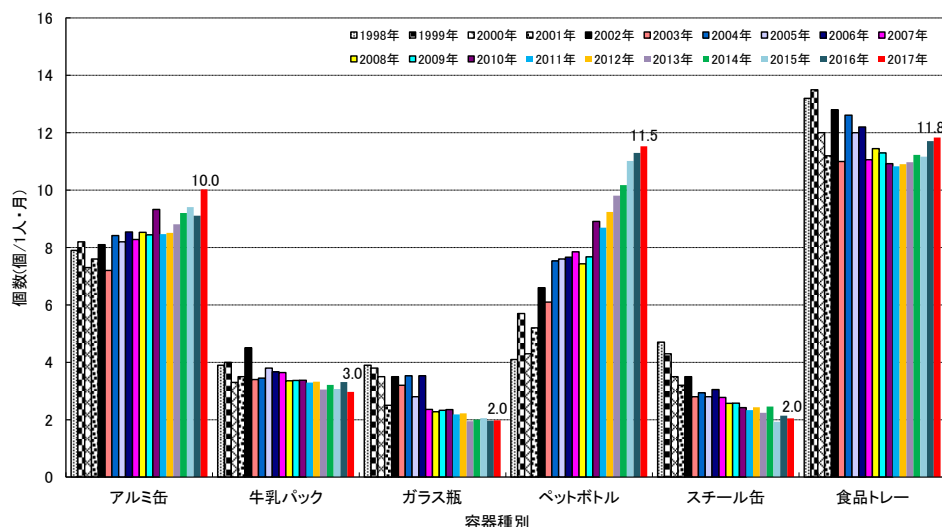


図5. 包装容器の消費個数(1人当たり1ヶ月)

4. 家族形態別の二酸化炭素排出量の比較

家族人数による二酸化炭素排出量の違いを見るため, 有効数の大部分(今年度は92.1%)を占める3~7人家族について一人当たり一ヶ月間の平均排出量を, 最近3年間にについてまとめて示した(図6)。

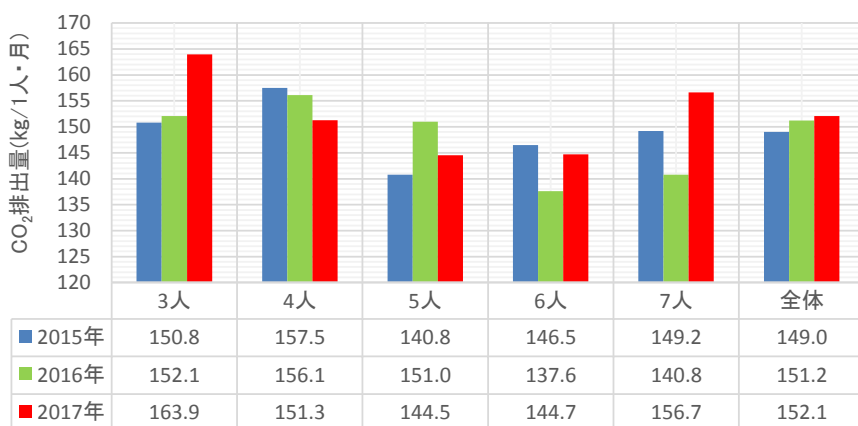


図6. 最近3年間の家族人数別一人当たり一ヶ月間の平均排出量

の諸問題も抱えており, 今後, 消費抑制に一層の努力が望まれるところである。なお包装容器の二酸化炭素排出係数はリサイクル, 再生時の排出を含めた値である。すなわちリサイクルは資源の節約という観点から重要であるが, 二酸化炭素の削減にはならない。

2年連続で全体の二酸化炭素排出量が微増している中で, 昨年との比較でいうと, 有効数の52.1%を占める4人家族と5人家族の世帯で減少したものの, それ以外の世帯で増加し, 特に7人家族と3人家族での増加が大きく, 全体の平均値を押し上げたことがわかる。

エネルギー品目毎の家族人数別一人当たりの二酸化炭素排出量(図7)は、排出量比率の大きい方から見ると、昨年と同様にガソリンは図6の2017年の家族人数別一人当たり平均排出量の変化と同様であり、自家用自動車の主要な燃料であるガソリンが一人当たりの二酸化炭素排出量の多くを占めていることが改めてわかる。電力は3人家族から7人家族まで減少したが、これも昨年と同様であ

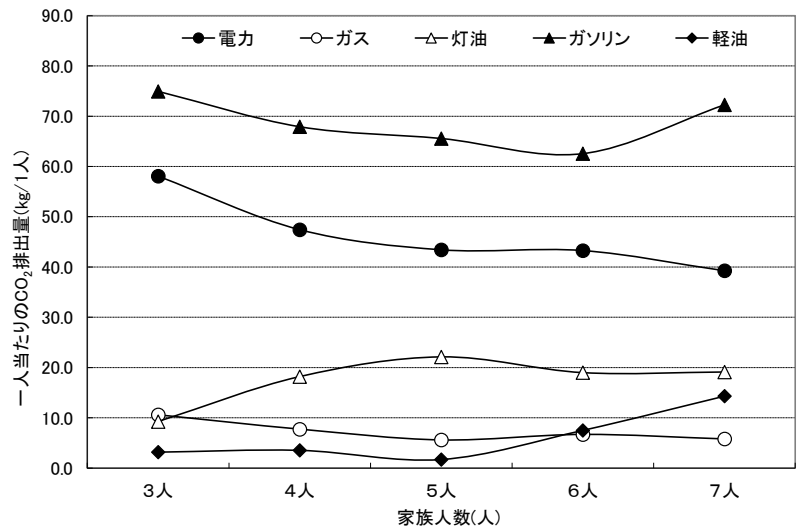


図7. エネルギー品目毎の家族人数別一人当たりCO₂排出量(2017年)

る。家電製品は家族共用のものが多くと考えられるので、個々の生活の多様化傾向はあると思われるが、家族人数が増えれば分母が大きくなり減少する。灯油は今回も5人家族が多かった。ガスについては大きな増減の変化はないが、オール電化住宅の増加に伴い、ガスを使用する家庭が年々減少している現状がある。軽油は5人家族から7人家族まで急な増加傾向となった。6人家族、7人家族でディーゼル車保有の傾向が大きくなると思われる。

また、全二酸化炭素排出量の48.69%を占めるガソリンと軽油について調査期間における一世帯当たりの消費量(リットル)を家族人数ごとに表した(図8)。ガソリン消費量は家族人数が多いほど多くなる。大人一人に一台という所有台数の増加傾向が表れていると思われる。軽油消費量も5人家族から7人家族にかけて明らかな比例関係が認められる。家族人数が多くなるほどディーゼル車保有の傾向が大きくなることがこの図からもよくわかる。そしてエネルギー5品目の二酸化炭素排出量(図4)

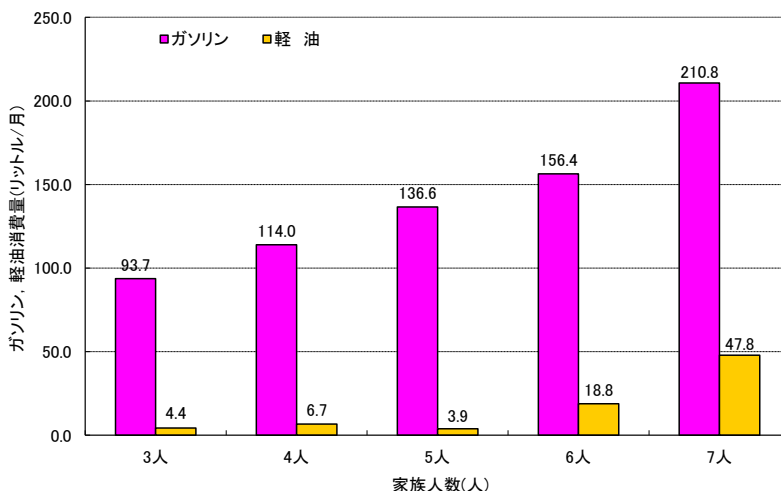


図8. 家族人数別平均ガソリン・軽油消費量(2017年)

における軽油の増加とも調和的である。2014年の総務省統計局のデータによると、山形県は2人以上の世帯、1000世帯当たりの自動車所有数量が2111台(全国平均1377台)で全国1位ということである(やまがた県民手帳2018)。各家庭においては通勤などの移動手段として複数の自家用車が使用されている実情がある。燃費節約等工夫した利用が望まれる。

5. まとめ

今年度の家庭における一人当たり一ヶ月（夏休み期間）の二酸化炭素排出量の結果をA～Dのレベルによって分類してみると（図9），1990年比－6％以下が達成されたレベルAは28.1％（有効数505件中の142件）であった。昨年が25.3％であったので，2.8％の比較的大きな増加となったが，レベルBは22.8％から17.0％へ5.8％という大幅な減少となった。一方でレベルCは20.0％から22.2％へ2.2％増加し，全国平均を超えるレベルDも32.7％（165件）となり，昨年の31.9％に比べ，0.8％の増加となった。レベルBの減少分がレベルA，C，Dの増加分

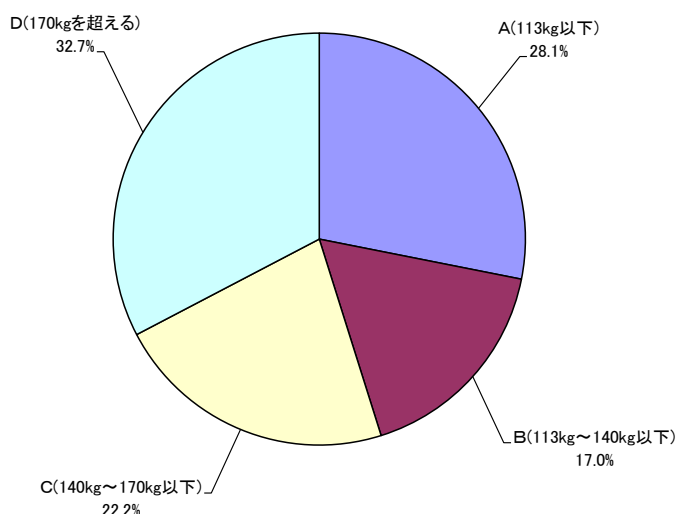


図9. 一人当たり一ヶ月の二酸化炭素排出量(2017年 レベルによる分類)

となり，平均値は0.9kgの増加となった。レベルAは1990年比－6％以下が達成される範囲として，本校では当初から一人当たり一ヶ月間の二酸化炭素排出量として113kg以下と設定している。これは家庭で達成すべき日本の地球温暖化防止に向けての数値目標ともいえるが，図9を見ると，本校におけるその達成率は，今回は4分の1を大きく超えることができた。レベルBが減少し，レベルC，Dが増加したのは度数分布（図2）の結果と調和的である。レベルC，Dの世帯が一つでも多くレベルBの範囲に入ってくることが望まれる。

図10に図2凡例の有効数と一人当たり一ヶ月間の二酸化炭素排出量平均値（1998年～2017年の20年間）について年度別にまとめた。2005年からは総合学習の課題として全校生徒が取り組んできたが，平均

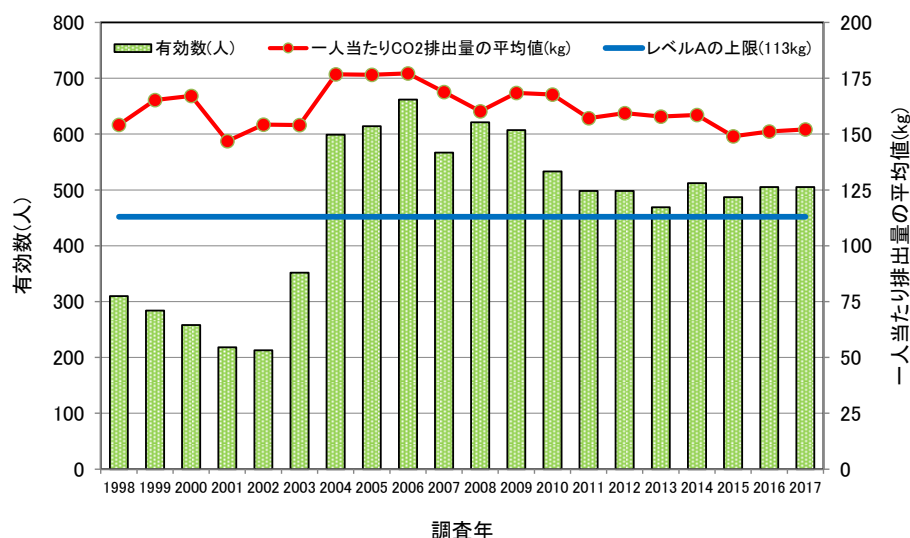


図10. 年度別有効数と一人当たり1ヶ月排出量の平均値

値はなかなか減少しなかった。一昨年，14年ぶりに一人当たりの二酸化炭素排出量の平均値が150kgを下回ったが，昨年から再び150kgを超えた。全校平均が近々に113kgを下回るのはかなり困難であるが，段階的な目標として，まずは150kgを下回ることを目標として取り組んでいきたいと思います。

温暖化の弊害

温暖化がこのまま進行すると、地球環境に大変な影響をもたらすといわれています。例えば、気象変化の振れが大きくなっていき、気候が変動していくとされています。その結果、動植物などの生態系が荒廃し、ウイルスなどによる感染症が広がることも予想されています。

環境問題解決の基本として「3つの公正」が指摘されており、そのうちの一つに世代間の公正(次世代にツケを負わせない)があります。次の世代のためにも何とかしたいものです。

感謝とお願い

2017年度の本校における夏休みの二酸化炭素排出量の結果と生徒および保護者のコメントを掲載して、環境学習「第21回 地球温暖化とゴミ問題2017」の報告とさせていただきます。今年度も皆様方の熱心な取り組みにより、有意義な結果を得ることができました。

二酸化炭素排出量は依然として減少の傾向が見られず、京都議定書達成には程遠い状況です。環境問題は効果が表れるのに長い時間が必要であり、継続的な努力こそが最大の解決策であります。このことを一人一人が真摯に受け止め、今後の削減に努めていきましょう。

<環境問題にとって最も重要なのは実践行動です>

提 言 3つの削減工夫

これまで、皆さんとともにやってきた本校独自の温暖化調査の結果を踏まえ、次のことを提案します。

1. 自家用車利用削減の工夫(自家用車の利用回数を減らす等)
2. 電気やガス、灯油使用削減の工夫(節電につとめ、調理や入浴は効率よくする等)
3. 包装容器削減の工夫(包装の必要がないような買物等)

引用文献

環境省(2017):2015年度(平成27年度)の温室効果ガス排出量(確報値)について

<http://www.env.go.jp/press/103922.html>

国土交通省(2017):2015年度(平成27年度)環境 運輸部門における二酸化炭素排出量

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html

気象庁(2017):世界の年平均気温

http://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/an_wld.html

やまがた県民手帳(2018)資料編:主な山形県全国ベスト3 I 統計資料編p.11

地球温暖化とゴミ問題

たんそくんシート (二酸化炭素CO₂排出量の算定)

※記入は鉛筆(HB・B)を
使用してください。
この用紙は折らない
で下さい。

郵便番号 〒

住所

地域
☐ 置賜地域
☐ 村山地域
☐ 最上地域
☐ 庄内地域
☐ 県外

氏名

本校生徒：学年・組・番号

家庭における一人当たり一ヶ月の二酸化炭素排出量(自家用車も含む)の努力目標
裏面の⑭の値が次の値以下になるよう挑戦してください。

(調査開始の時、目標レベルの「目標」欄にマークし、終了時に実際のレベルの「結果」欄にマークしてください。)

目標	⑭の値	結果
☐ レベルA(1990年比 マイナス6%以下) ・一人当たり一ヶ月 113kg		
☐ レベルB(全国平均とレベルAの中間値以下) ・一人当たり一ヶ月 140kg		
☐ レベルC(全国平均以下) ・一人当たり一ヶ月 170kg		
☐ レベルD(レベルCを超える)		

年 組 番

1	1	1
2	2	2
3	3	3
4	4	4
5	5	5
6	6	6
7	7	7
8	8	8
9	9	9

家族人数

期間

*期間は、できれば一ヶ月とってください。
一ヶ月できなかったときは、計った期間を必ず書いてください。

↓
人

開始 月 日

終了 月 日

期間 日間

*家族人数は
必ず記入、マーク
してください。

①～⑥まで使用量(小数点第1位まで)を記入、マークし、下記の計算式で排出量を求めてください。

*下水道が入っている場合は、(b)のみ記入して下さい。

* (a) LPG、(b) 都市ガスのいずれかにマークして下さい。

① 電力

② 水道

③ LPG・都市ガス

④ 灯油

(kWh)

1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9

(a) (m³)

1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9

(b) 下水道が入っている場合 (m³)

1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9

LPG (a) 都市ガス (b)

1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9

重さのとき (kg)

1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9

(リットル)

1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9

⑤ ガソリン (リットル)

⑥ 軽油 (リットル)

1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9

1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9

	排 出 量
① 電 力 () kWh × 0.44 =	kg
② 水 道 () m ³ × 0.19 =	kg
下水道が入っている場合 () m ³ × 0.59 =	kg
③ LPG(プロパン) (a) () m ³ × 6.6 =	kg
都市ガス (b) () m ³ × 2.2 =	kg
重さのとき () kg × 3.0 =	kg
④ 灯 油 () リットル × 2.5 =	kg
⑤ ガソリン () リットル × 2.4 =	kg
⑥ 軽 油 () リットル × 2.6 =	kg

※電力、水道、LPG、灯油の各消費量は月毎の検針伝票などから一ヶ月分を概算してください。もし、外壁などの設置メーターから読み取るときは(最後 - 最初)で算出してください。ガソリン、軽油はガソリンスタンドでの購入伝票を保存しておいて一ヶ月分を算出してください。とくに電力は必ず記入して下さい。その他一般のゴミも大量の二酸化炭素を排出しておりますが、計量が大変なので今回は見送ります。

裏面につづく →

⑦～⑫までの各種包装容器（⑫のトレーにはインスタントラーメン類の容器も含む）のおおよそで結構ですから各品目毎に毎日の消費数を書き込んでください。各合計数をマーク欄に記入、マークして下記の計算式で排出量を求めてください。

	1日め	2日め	3日め	4日め	5日め	6日め	7日め	8日め	9日め	10日め	11日め	12日め	13日め	14日め	15日め	16日め
日付	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
⑦アルミ缶 (本)																
⑧牛乳パック (本)																
⑨ガラス瓶 (本)																
⑩ペットボトル(本)																
⑪スチール缶 (本)																
⑫食品トレー (枚)																

	17日め	18日め	19日め	20日め	21日め	22日め	23日め	24日め	25日め	26日め	27日め	28日め	29日め	30日め	31日め	合計
日付	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	マーク欄に記入・マークすること
⑦アルミ缶 (本)																
⑧牛乳パック (本)																
⑨ガラス瓶 (本)																
⑩ペットボトル(本)																
⑪スチール缶 (本)																
⑫食品トレー (枚)																

⑦アルミ缶 (本)	⑧牛乳パック (本)	⑨ガラス瓶 (本)	⑩ペットボトル (本)	⑪スチール缶 (本)	⑫食品トレー (枚)
①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③
④	④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨

※各品目とも二酸化炭素排出だけでなく、他の温暖化ガスや有害物質の排出および資源消費や深刻なゴミ問題を抱えています。各種容器の合計消費量をもとめてください。

⑦アルミ缶合計数×0.17=	排出量	kg	⑩ペットボトル合計数×0.08=	排出量	kg
⑧牛乳パック合計数×0.16=		kg	⑪スチール缶合計数×0.04=		kg
⑨ガラス瓶合計数×0.11=		kg	⑫食品トレー合計数×0.01=		kg

⑬家庭における一ヶ月の二酸化炭素排出量合計を求めてください。

①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫= kg

家族一人当たり一ヶ月の二酸化炭素排出量(上記⑬の合計値を家族人数で割る)を求めてください。

⑭一人当たり一ヶ月の二酸化炭素排出量=⑬÷家族人数= kg

各データの出所は環境省、資源エネルギー庁、国立環境研究所、榊野村総合研究所、(財)日本環境衛生センター

*** 感想や気付いたことを書いてください。***

※ここは記入しないでください

①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨

【個人情報保護について】ご記入いただいた住所・氏名・その他の個人情報は、調査・統計以外の目的には使用いたしません。

ご協力ありがとうございました。このシートは提出用なのでデータを残したい方は各自コピーをとってください。

米沢中央高等学校 環境学習推進委員会

〒992-0045 山形県米沢市中央7丁目5-70-4
Tel0238-22-4223 Fax0238-22-4224

初版 平成16年7月16日

**環境学習「地球温暖化とゴミ問題 2017」
生徒および保護者のコメント
1) ~268)**

1) 去年よりも増えてしまったと思うので、これからは減らしていけるように家族みんなで取り組んでいきたいです。環境をもっと大切にしたいし、環境に良いことをしていきたいと思います。自動販売機で飲み物を買って、ほぼ毎日ペットボトルや缶を捨てていました。このような自分の行動もCO₂を増やしているのだと実感しました。この調査は自分の行動を見直すいい機会となりました。

2) 環境にやさしい生活ができるように心がけたいと思います。家族と協力して家族一人当たり一ヶ月間の二酸化炭素排出量を減らしていきたいと思います。自分が出来ることを少しずつ実践していきます。ペットボトルの飲み物をよく買うので、マイボトルを持ち歩こうと思いました。

3) 結果を見ると、かなり二酸化炭素排出量が多いと思った。これからは少しずつ減らせばいいと思う。環境問題に少しでも貢献していきたいと思う。この調査を行って、たくさん気づくことができました。この調査を活かして地球温暖化防止に貢献していきたい。

4) 全国平均を上回ってしまったのは残念でした。その原因としてはガソリンの消費量が多かったことにあります。しかし、ガソリンの消費量を減らすことはなかなか難しいことだと思うので、それ以外のところで、節電・節水を心がけていきたいです。

5) 毎日出るゴミについてあまり考える機会がなかったので、今回の調査を通して家ではこれだけの量のゴミが出ていることが分かりました。現在、地球温暖化が問題になっているので、環境に配慮した生活を心がけたいと思いました。

6) 今年の目標は、レベルB(全国平均とレベルAの中間値以下)だったのですが、結果はレベルAでした。思ったよりも私の家から出る二酸化炭素の量が少なくて良かったです。夏休みはお盆をはさむため、親戚などが集まり、アルミ缶やペットボトルの消費量がどうしても多くなってしまうのですが、この結果が出たということは、私を含め家族全員に地球環境に対する意識が少なからずあるということだと感じました。この結果に満足せず、これからもこの意識をもち続けたいです。

7)アルミ缶，牛乳パック，食品トレー，ペットボトルの量がとても多かったと思う。全国平均を上回るBレベルだったが，あともう少しでAのレベルになるので，毎日，二酸化炭素，温暖化のことを考えて生活していきたいと思いました。また，このような機会を設けていただいて，自分の家がどのくらい二酸化炭素を排出しているのか，はっきりと知ることができて良かったと思います。今後につなげていきたいです。

8)目標のレベルBに届かず，残念でした。今回の結果を見て，家族でやれること，自分がやれることを考えて，次回は目標のレベルBに届くようにしたいです。例えばエアコンの設定温度を上げる，節水を心がけるなど，すぐにできる簡単なことをしていきたいです。これからの持続可能な社会のためにも一人一人の意識が大切だと思うので，これをよい経験としてこれからの生活に活かしていきたいです。

9)思いの外，資源を使っていたことに驚きました。私がよく飲む缶ジュース，親がよく飲む缶ビールのために，アルミ缶の個数が多くなってしまいました。また，電気をつけっぱなしにすることがよくあるので，こまめに消すように気をつけたいです。

10)普段は気にしていない家の水道，電気の使用量を知り，節約を心がけようと思った。記録をとってみると，たくさんのゴミが出ていて，特にペットボトルが多かった。この調査を機会に，どうすれば水道，電気を減らすことができるか考え，実践していきたい。

11)スチール缶が一ヶ月で2本しか消費していないことにおどろきました。一人当たり一ヶ月の二酸化炭素排出量が意外に多かったので，今後はもう少し消費数を減らしていきたいと思いました。

12)目標レベルより排出量を減らすことができました。地球温暖化防止のためにレベルAを目指して生活していきたいと思います。また，この取り組みは，二酸化炭素を各家庭で意識することができるので，これからも続けていってほしいです。

13)どうして節電しないといけないのか，改めて考えさせられました。シートに記入することにより，節電の意識が高まりました。地球温暖化が原因で，台風など熱帯低気圧の異常発達，異常気象を招いています。私は南陽市に住んでおり，平成25年，26年，2年連続で豪雨災害に遭いました。一人一人の意識を高めていくことがとても重要だと強く思います。

14)私が感じたことは，ペットボトルと食品トレーの量が多いということです。この調査は地球温暖化について考えることができるよい活動だと思います。

15) 思った以上にCO₂を排出していてとてもおどろいた。昨年よりもかなり多い気がするので、今後はもっと気をつけていきたい。今日世界はエネルギー・環境問題が深刻化しています。より一層省エネ、エコに力を入れるべきだと思います。この取り組みは大変素晴らしいと思うので、今後も続けてほしいです。

16) 今年は冷房を使わないことを心がけ、電気代は昨年より抑えられたと思います。現在、二酸化炭素の大量排出や汚染水の問題など様々な環境問題があります。そして、私たちの環境への配慮が足りないためにこのような問題を引き起こしているのだと考えます。今回のデータを見て、生活の課題が見つかったので、これから気をつけていきます。

17) こうやって調査してみると自分の家庭から出されるゴミが思いの外多いことに気付かされます。これから大学に入り、一人暮らしが始まるので、ゴミの分別を自分でやらなければいけなくなります。意識をもって日々の生活を送りたいと考えています。

18) 昨年よりも各種包装容器の量が減った。これからも気をつけていきたい。夏は飲み物を多く飲むため、自分で水筒を持って行くなど、自分ができることを少しずつやっていきたい。3年間この取り組みを行ってきて、自分がどれだけの二酸化炭素を排出しているかを知ることができて良い取り組みだったと思う。卒業してからも地球温暖化を気にして生活していきたい。

19) 通勤では自動車を使用しないが、単身赴任中の主人のところに何度か通ったので、ガソリンの使用量が増えてしまった。そのため目標より大幅に多くなってしまったので残念でした。

20) 思ったよりもCO₂排出量が少なくて良かった。これからも節約に心がけたい。エコリサイクルを考えて地球にやさしい人になろうと思います。これからエコに気をつけて生活していきたいと思います。

21) 二酸化炭素が増えると地球温暖化につながります。私は普段アルミ缶やペットボトルを何も考えずに捨てていました。この取り組みを通して、普段自分が大量のエネルギーを消費していることがわかりました。これからも意識して生活していきたいと思いました。是非これからも続けてほしいと思います。

22) レベルDだったのは、車で旅行したため、ガソリンがとて多くなってしまったのが原因だと思った。また、ペットボトルも多かったので家庭内で減らすように心がけたい。二酸化炭素が増えると地球温暖化が進んでしまいます。一人一人が改善していこうとすることが大切だと思いました。これからも二酸化炭素を減らしていくように心がけたいです。

23) 今度で最後になりましたが、夏休みに自分の家のこのような記録をとることができて、とてもいい経験になりました。是非今後も続けてほしいです。

24) 思ったよりも多くの二酸化炭素を排出していると思いました。今回の調査結果を受けて、これからの環境を守るために少しずつ工夫して生活していきたいと思いました。

25) 平均するとほぼ1日1本のペットボトルを捨てているという結果が出たのにおどろきました。地球を守るために少しでもゴミを無くしたいと思いました。

26) 今回はペットボトルの数を減らすため、水筒を持っていくようにしました。その分去年よりは二酸化炭素排出量も減りました。今後も少しでも排出量が減るように、意識して生活しなくてはならないと思いました。今年は家を留守にした日もあったので、数値が低かった。

27) ペットボトルが一番多かった。このような機会がないと、なかなか調べられないので勉強になりました。

28) この調査を行って、私たちが何をどれだけ消費しているのかわかった。こんなに二酸化炭素を出していることを改めて実感できました。地球温暖化がますます進む中、私たちにできることを頑張って、地球温暖化防止に貢献したいと思いました。

29) 二酸化炭素のことをあまり考えたことはないが、今回の課題で自分たちがこれほど多くの二酸化炭素を排出していることを知りました。

30) そんなに使用していないと思っていた電力がとても多かった。さらに二酸化炭素排出量全体も多く、おどろきました。ときどきこのように記録してみるのも、生活を見直すきっかけになるとと思いました。私の家は全国と比べてかなり多いので、これから生活を見直して改善していくようにしたいです。

31) 大学のオープンキャンパスに行った時や、部活動の遠征に行った時などにすぐにペットボトルを買ってしまい、たまってしまった。そして、食事の方では食品トレーが多くなってしまった。最近は気候がおかしくなっていて、温暖化が進んでいると身をもって体験したので、もっと気をつけていかなければならないと思った。

32) 暑さのため、ジュース類を飲みすぎている。体のためにも環境のためにも、マイボトルに麦茶等を作って飲んだ方がよいと思った。

- 33) 二酸化炭素の排出量はガソリンが一番多く、環境に影響している。
- 34) ペットボトルの消費量が多いと思いました。全国平均を超えていたのでおどろきました。
- 35) 自営業のため一般家庭より多い。
- 36) 暑い日はエアコンをガンガンつけて、消し忘れて寝た日もありました。もっと意識を高くもっていこうと思いました。
- 37) エアコンや照明、テレビのつけっぱなしがあった。こまめにスイッチを切って節電したい。リサイクルできるものは、リサイクルに出している。今後も資源を大切にしたい。
- 38) 環境に気を遣わなければ、この先はありません。この世の終わりです。自然を大切にしようと強く思いました。二酸化炭素を吸収し、酸素を作り出す。植物は偉大だと思います。
- 39) 今回、二酸化炭素の排出量を調べてみて、一ヶ月でこんなに多く排出されていることを知り、おどろいた。地球温暖化を食い止めるために、小さいことから一人一人が意識していけば、もっと減らせると思った。
- 40) 普段は、使用量や二酸化炭素排出量など意識しないで生活していましたが、このように改めて数値にすることで、消費量を意識するようになりました。これからなるべく無駄遣いしないように気をつけていきたい。
- 41) 去年に続いて、自分たちがどのくらいCO₂を排出しているのかを数字で見ることで、環境について考えるきっかけになったと思います。どうしたら減らせるかを考えたときに、ペットボトルやアルミ缶は減らすことができるのではないかと思います。例えば、飲み物をできるだけ水筒に入れて持っていくなどです。どうすれば環境を守っていくことができるかを考えられたのでよかったです。
- 42) 私の家は、母屋と別邸があり、二つの場所で電気や水道、ガスを使っているので、他の人よりも大きな数値になったのではないかと思います。また、お盆の時期は来客が多くなるので、その分ゴミが増えます。しかし、電気の無駄遣いや、必要以上のものを買って出たゴミがなかったかといえば、嘘になるかと思っています。今回の調査を通してわかった無駄をこれからは意識してなくしていきたいと思っています。
- 43) 私の家は5人中4人が車を利用しているので、エネルギーの量が多いと思いました。

44) 去年よりもペットボトルの消費数が大幅に増えてしまった。マイボトルを持って生活したい。エアコンや扇風機をつけっぱなしにして行動してしまうのは今後絶対にやめようと思う。もっと抑えられるはずなので、未来のためにも意識して生活していきたい。

45) 去年に引き続き、全国平均よりも少ない排出量だったのでよかった。日頃、節約を意識して余計なゴミを出さないようにしている結果だと思う。地球温暖化を加速させないためにも、みんなが意識して生活することが大切だと思った。これからも二酸化炭素の排出を少なくできるように気をつけて生活したい。

46) 普段はあまり気にせずに、見過ごしていることにも気をつけて生活できたのでよかったです。目標達成はできず残念でしたが、少しでも減らせたのならうれしいです。これからも気をつけていきたいと思いました。

47) 全国平均以下のレベルDという結果でとてもおどろきました。調べてみなければわからないので、この結果を知ることができてよかったです。

48) シートに記入してみると、アルミ缶がかなりの頻度で出ています。それに対してスチール缶はごく偶に出てきます。いろいろと気づくことがありました。わが家はけっこう節約している方だと思っていたのですが、アルミ缶の多さが目立ちました。これは全部父親が飲んだ酒です。これがなければレベルAだったかもしれません。お酒は控えてほしいです。

49) kgで、二酸化炭素排出量を表すことは普通ないことなので、94kgという結果になって、ピンと来ないのですが、レベルAだったので、よかったと思います。普段気にしたことのない二酸化炭素排出量を知るよい機会であったと思います。これを期に二酸化炭素を減らしたいです。

50) 思った以上に一人当たりのCO₂排出量が多くびっくりしました。今後はガソリン、灯油などに気をつけていきたいと思います。

51) 私の家はガスではなく、オール電化なので、まずそこで二酸化炭素を減らしている。また、昼間はほとんど家にいないので、その電気もあまり使っていない。

52) 夏休み期間中、お盆で来客が増えたことで、①、②、⑦～⑫が増加することになりました。目標をレベルBとして、それに近づくように家族の意識を高めていきたいと思いました。電気、灯油、ガソリンに関わる排出量が多いことにも改めて気づかされ、節約する意識をもっていきたいと思います。

53)一ヶ月あたり一人100kg以上の二酸化炭素を排出しているとはおどろきでした。二酸化炭素は地球温暖化の主要な原因物質であり、これから少しでも減らしていきたいと思います

54)電気の使用量が今年は少なかった。ガソリンも遠出をしなかったためか、少ない。結果レベルAでした。

55)意外と二酸化炭素排出量が多いと思った。昨年のこの調査以来、排出量については忘れて気にしていなかったもので、これからは継続して二酸化炭素を減らすことを意識したい。

56)二酸化炭素排出量を求めてみて、思ったよりもだいぶ多く排出していることに気づいた。地球環境のためにも排出量を減らしていこうと思いました。

57)私の家では、食品トレーのものはほとんど買わず、大きな袋のものを買っています。パックやペットボトルを出さないように麦茶を作るなどの工夫をしています。水道や電力が多くなってしまったので、来年は改善していきたいです。

58)毎日、アルミ缶や食品トレーが出ていることに気づきました。ペットボトルも多いので、できるだけ水筒を持っていこうと思いました。水道、電力も多いです。水道は出しっぱなしにしないで節約すること、電気は必要な時以外はこまめに消すことを心がけていきたいです。

59)一般的にCO₂の排出を減らすことを考えて行動しているのではないので、今のものが溢れている時代ではますますCO₂は増えてしまうと思います。ゴミといっても違うものに形を変えて、再利用もできるので、何を使うのか判断したいと思いました。ゴミ問題は社会的にもゴミ屋敷など近隣住民に迷惑をかける事例も多くなってきました。ゴミはため込まないようにしたいです。CO₂の問題は植物を増やして、光合成量を増やすことを考えた方がよいのかもしれません。

60)平均よりも多くCO₂を排出していたことがわかりました。家族全員で3Rを意識して資源の無駄使いをしないように気をつけたいです。

61)今回環境調査をして、ゴミの量などを調べてみて、思ったよりも多くのゴミや二酸化炭素を排出していることにびっくりしました。私の家では、アルミ缶やペットボトル、スチール缶などの量がとても多いので、積極的にリサイクルに出してゴミにならないようにしていきたいです。節電・節水を心がけて、できるだけ二酸化炭素の排出を抑えていきたいです。

62) 夏休みの期間だけでも多くのCO₂が排出されていることがわかりました。普段からなるべくCO₂を出さないようなエコを心がけた生活を送り、私たちの地球を守りたいです。

63) 思った以上に、家族一人当たり一ヶ月間の二酸化炭素排出量が少ないことがわかった。時代の背景からか、お酒以外のガラス瓶はほとんど出なかった。家ではガス、灯油を使っていない分、消費電力が多いので、これから気をつけていきたい。

64) ペットボトル、食品トレーは毎日使っているが、排出量は食品トレーよりペットボトルの方が多いことがわかりました。この結果を通して、二酸化炭素がどれだけ排出されているのかよくわかったのが良かったです。思っていたよりも排出量が多かったのがびっくりしました。

65) 家族4人で過ごす一ヶ月の二酸化炭素排出量がこんなに多いことにびっくりしました。また、一人当たりの二酸化炭素排出量が自分の予想以上で、とてもびっくりしました。それでもレベルAだったので良かったです。これからはこのまま増やさないように過ごしていきたいです。

66) 初めて、一ヶ月間環境調査をして、一人当たり168.6kgの二酸化炭素を出していることがわかりました。私が目標にしていたレベルCを達成できたので良かったです。ガラス瓶が一ヶ月間1本も出なかったことにびっくりしました。一番多く二酸化炭素を排出しているのがガソリンでした。最近の異常気象を考えると、みんなで一緒に取り組まないといけない課題だと思いました。

67) 自分の生活の中でゴミをどれだけ出しているのかわかりました。部活動でペットボトルを使うことが多く、他のゴミに比べ、たいへん多くなりました。しかし、全体的に見ると、エコしていると思いました。

68) 今年はホームステイの人を受け入れたこともあって、ペットボトルの本数が多かったし、食品トレーも多く出ました。また、電力と灯油、軽油が百の桁にまでなって、多く使っていたので、これからはこまめに節電をするなど、自分にできることをしていきたいと思いました。レベルDとなり、環境保全に貢献していないことがわかったので、家族に呼びかけていきたいです。

69) ペットボトル飲料を飲むことが多かった。たくさん二酸化炭素を出してしまった。エコ活動の一環として、ペットボトルをマイボトルに変えていかなくてはならないと思いました。これから意識をもって生活していけば、排出量が少なくなっていくと思います。数字でわかるとどんどん少なくしていきたいと思えるので、頑張っていきたいです。

70)一ヶ月間表に表すと、自分がどれだけ使っていたかがよくわかる。数字に表すと家族が一ヶ月間に排出している量がわかる。意外にペットボトルの量が多かった。節約すべきところが見えてくるので、よい活動、取り組みだと思った。

71)一ヶ月間の二酸化炭素排出量がとても多いことがわかった。数値にしてみると、何が多いのか改めてわかるので、それを減らさなければならないと思った。これからの地球のためにも生活の中でもっと意識しないといけないと思う。

72)アルミ缶の消費がとても多くおどろきました。一ヶ月で一人当たりが出しているゴミがこんなにあるのかと思いました。環境をよりよくするために、電気をこまめに消し、使用しないときはコンセントを抜くなど、工夫していきたいと思います。

73)平均なのでよかった。食品トレーの方がペットボトルより数が多いのに、排出量の方は食品トレーよりペットボトルの方が多くことがわかった。

74)全国でうちの学校だけがこの取り組みをやっているとはおどろきです。一ヶ月間忘れずにできたので良かったです。普段このようなことは調べないので、大切な経験ができました。夏休み期間以外にも調べて、レベルAに達するような生活を送ってみたいです。

75)二酸化炭素排出量を今まで気にしたことがなかったのですが、今回調べてみて意外と多かったので、今後は少しでも減らしていけるように心がけたいです。スチール缶が31日間で2本しか出なかったことにおどろきました。

76)このような取り組みは初めてでしたが、一ヶ月間でこれだけの二酸化炭素を排出しているとは思わなかったのでおどろきました。我が家の排出量はとても多いようなので、家族で節約して排出量を減らしたいです。

77)私が思っていた以上にたくさん二酸化炭素を排出していることにおどろいた。これからは意識してゴミを減らしていきたいと思う。ペットボトルと食品トレーの消費が多いので、できるだけ飲み物は水筒に入れて持ち運ぶようにしたい。6種類のゴミだったが、他のゴミも数えたら二酸化炭素がもっと多くなると思った。

78)いとこ達とバーベキューなどをしたときにたくさんのアルミ缶などが出てしまいました。このように計算してみるとかなりの二酸化炭素を排出していると思いました。これからの生活で気をつけていきたい。

79) 今回の調査をしてみて全国平均を上回っていたので、これからの生活で二酸化炭素を減らしていきたいと思った。また来年もあると思うので、今回よりよくなっているようにしていきたいです。自営で大工をやっているので、それも電力に入っている。

80) 今回調査をして気づいたことは、食品トレーやペットボトルが多かったことです。いつも学校にペットボトルを持っていくので、これからはマイボトル(水筒)にしようと思った。少しでも二酸化炭素の排出量を減らしていきたい。

81) ペットボトルの多さにびっくりしました。レベルBだったが、レベルAに近かったので、これから減らす努力をしていきたいと思います。地球温暖化防止のためにもっとエコに生きていきたいと思いました。

82) この取り組みをして一人当たり一ヶ月の二酸化炭素排出量が多いことがわかったので、日常の生活をもっと見直さなければいけないと思いました。どうすればこの数字を小さくできるか考えて生活したいと思います。家族と協力して生活していき、ゴミの量も減らしたいです。地球環境のことを考えていきます。来年の取り組みが楽しみです。

83) 予想以上に一人当たりの二酸化炭素排出量が多いことに気づきました。ペットボトルやアルミ缶、食品トレーが特に多かった。私も毎日利用しているので、少しでもゴミを減らしたいです。ペットボトルではなく、水筒を利用して、快く生活できるようにしていきたいです。

84) 電力が多かった。エアコンの使用時間を減らし、こまめに電気を消すなど気をつけていきたい。夏休み中ペットボトル飲料をたくさん飲んでしまった。すべてゴミになるので、水筒をもつことを考えたい。

85) 節約の大切さに気づかされる取り組みであったと思った。毎日少しずつたまっていったトレーやペットボトルが、最後に合計したら予想をはるかに超える数値でとてもおどろきました。今まで何も考えず、環境に迷惑をかけていたことがわかりました。これからの世代のためにも守るべき自然をしっかり守って生活していくことを心がけたいです。

86) 僕の家庭では、アルミ缶、ペットボトル、食品トレーが多いので、できるだけ使用しないように心がけたいです。これからはお茶を自分で作ってマイボトルに入れ、トレーなしで肉や魚を買うなどさまざまな工夫をしたいと思います。また、節電に心がけて、できるだけ車にたよらない生活ができるように、家族全員で意識していきたいです。

87) 自分の家はオール電化で、電力の値がとても大きくてびっくりしました。また、とても多いのがペットボトルです。牛乳パックは最も少なかった。

88) 今まで気にも留めたことのないアルミ缶やペットボトルの数などがわかり、自分の家が一ヶ月間でこんなに多くの二酸化炭素を排出しているとは、とてもびっくりしました。この時期に家のことを調べることができて良かったです。

89) 僕の家では、ペットボトルの量が他と比べて非常に多かった。

90) 一人当たりの二酸化炭素排出量が150kgくらいだと思っていたので、95kgという数字は低いと思った。水道は意外と少なかった。目標はBだったが、結果はAを達成できたのでよかった。

91) まず思ったことは一人当たりの二酸化炭素排出量が多いということです。特に、ガソリンや電気でした。でもガソリンは、父が仕事なので仕方がないと思います。電気はもっと節約しようと思いました。みんなで1つの部屋に集まって節約したり、エアコンを使わずに、窓を開けたり、扇風機をつけたりしてがんばりたいと思いました。それからアルミ缶と食品トレイ也多めでした。来年は最低でもレベルCになれるようにがんばります。

92) 今回やってみて、大変だと思ったことはありません。私が作った記入表を冷蔵庫に張っておき、捨てたものに印を付けてもらい、家族みんなで協力しながら取り組むことができました。私が思った通り、ガソリンの排出量がとても多かった。排出量の合計を求めましたが、どのくらいが平均なのかわからないので、学校で周りの友達と比べてみたいです。それで自分の家がどれほどなのか家族に伝えたいと思っています。このような作業は好きなので、嫌なことなく楽しくできました。

93) ゴミを調査することはなかなかないので、大変だったけど楽しかったです。100kgを下回って、レベルAだったので良かったです。

94) この調査をやってみて、自分が使っているものからこんなにも多くの二酸化炭素が排出されるとわかり、びっくりしました。生活の中で学ぶことも多いのだと実感しました。

95) 目標の値より少しだけ多かったが、それに近い値だった。二酸化炭素については普段全く意識していなかったが、けっこうたくさんの量を排出しているのだとわかった。このような取り組みは日常生活で気づかないことに気づくことができるので、とてもよいと思った。

96) ペットボトルの数がものすごく多い。便利なのだができるだけ水筒を用いるようにしようと思いました。

97) 今回の調査を通して、我が家では予想以上に一人当たりの二酸化炭素排出量が多いことがわかった。予想していたレベルBよりも大幅に超えてしまったことにおどろき、結果としてレベルCにも遠く及ばないレベルDだったことにおどろいた。我が家はもっと節電に取り組まなければならない。

98) 普段気にもしていなかったアルミ缶や牛乳パックなどからの二酸化炭素排出量を今回計算してみて、意外と二酸化炭素が出ていることにおどろいた。最後の合計を見たとき、家族全体で670kgも二酸化炭素が出ていることがわかり、かなりの重さだと思った。一ヶ月でこんなに排出しているということは、年間を通してものすごい量の二酸化炭素が出ているのだと思った。これからは少しでも二酸化炭素を減らすために節電・節水を心がけていきたい。

99) これからは地球温暖化を防止できるようにできるだけ節約していきたいです。また、自分の力だけでは小さいと思うので、まわりの人たちにも呼びかけていきたいです。

100) 二酸化炭素排出量が自分の思っていたよりも多くてとてもおどろいた。特に電力が多かったので、節電していこうと思った。これからの生活にこの結果を生かしていきたい。

101) 普段何気なく使っているものからこんなに多くの二酸化炭素が排出されているとはびっくりしました。電力、ガソリンそれぞれから100kgを超えた二酸化炭素が排出されていてびっくりしました。

102) レベルBを目標にしてやっていたのですが、結果はレベルAだったので、とてもよかったと思います。食品トレーは自分が思っていた以上に出ていたのでおどろきました。この調査で自分の家庭からどれだけのゴミが出ているのかを知ることができてよかったと思います。これからも継続していきたいと思います。

103) 今まで考えたこともなかった一人当たりの排出量、新しい発見というものがあった。これからは少し考えてみようかなと思った。

104) 目標の排出量を大幅に下回ることができてよかった。100kgは超えるかと思っていたが、全然届かなかったのでおどろきました。集計してみるとアルミ缶とペットボトルの数が特に多かったと思いました。今年の夏休みは皆で出かける機会があまりなかったので、排出量が少なかったのかなと思います。この調子でこれからも排出量を少なく維持していきたい。

105) 結果を見て、一人当たりの二酸化炭素排出量が少なくておどろきました。この調査の時だけではなく、これから地球のためにエコしていきたいと思いました。これ以上増やさないように努力して、地球がもっと住みやすくなるようにしていきたいと思いました。

106) できるだけゴミを減らすように考えて買い物するようになった。ペットボトル、食品トレーなど昨年よりずっと減らすことができた。

107) 毎年やっていて今年で3年目になります。人数が多いにもかかわらず、目標であるレベルAをとることができた。それは家族全員で環境に気を遣っていたからです。

108) たくさんゴミが出ている。スチール缶は少ない。アルミ缶とペットボトルは多い。ガソリンの排出量が多くてびっくりした。電気自動車をもっと普及してほしい。

109) 目標であるレベルAをとれたことで、下宿のみんなが日ごろから環境に気を遣っていることを知りました。自分も外出するときはマイボトルをもっていくなど、小さなことから努力するようにしています。小さなことからみんなと一緒にやっていこうと思います。

110) ガラス瓶とスチール缶がほとんど出なかった。それに比べてペットボトルと食品トレーが多いと思いました。気温が高く、エアコンをつけることが多かった。

111) 家族人数ごとのチャレンジ目標が決められていれば、張り合いもあると思うので、事前にわかればお願いしたいと思いました。

112) 家族で出かけることが多かったので、ガソリンの消費量が多く、二酸化炭素排出量の数値を押し上げたと思います。なお、一ヶ月の車の走行距離は約2,700kmでした。

113) 毎年やっていますが、なかなか自分の家はよくならないと感じました。ゴミの量は減りましたが、ガソリンの量を減らさなければどうにもなりません。

114) 飲料水をペットボトルでとることが多かった。お盆にはお客様が多く、できあいのものを買うことが多かった。昨年よりアルミ缶、牛乳パックが少なかったが、ペットボトルがかなり多く出た。また、エアコンの使用が多かった。排出レベルはよくならなかった。暑い日にもエコな生活をしていきたい。

115) 近年、地球温暖化が原因と思われるさまざまな災害が世界中で起こっています。CO₂の排出量をできるだけ抑えて生活していくように努力していきたいです。冷房の設定温度を上げ、冷蔵庫の開閉はなるべく少なくするなど、資源には限りがあることを頭に入れて生活しなければいけないと思いました。

116) 意外にペットボトルの消費量が多かったので、少しでも二酸化炭素排出量を減らす工夫をしたいと思いました。エアコンや扇風機の使い方等に注意して、電力を削減することをたくさんの人が意識すれば、地球温暖化を防いでいくことができるのではないかと思います。

117) エアコンや照明、テレビのつけっぱなしがあった。こまめにスイッチを切って節電したい。リサイクルできるものは、リサイクルに出している。今後も資源を大切にしていきたい。

118) 前の記録よりも結果が悪くなっていて、びっくりしました。なぜなのかわかりませんが、生活を見直す必要があることはわかりました。前の結果と細かく比較すれば、改善点も見えてくると思いました。

119) 3年間、このシートをやってみて、二酸化炭素に対する意識が強くなった。これからもより意識を強くしていきたい。

120) 調査中は意識しているので、ゴミの量を抑えようと気をつけているのですが、今後増える可能性は大である。エコのために減らす意識や努力していくことを身につけるように頑張りたいです。

121) お盆で長期滞在のお客さんが多かったので、この結果に影響していると思った。この調査が終わっても二酸化炭素排出量を意識しながら生活していきたいと思います。

122) ガラス瓶とスチール缶はなかった。しかし、電力などを多く使ってしまったために一人当たりの二酸化炭素排出量がレベルDとなってしまった。昨年もDだったので、どのようにすれば改善できるのか、課題を見つけていきたい。今年で3回目となり来年はないので、このようなことはこの先あるかわからないが、ゴミを出す時や、電気・水道の使用について考えて生活していきたい。

123) 家ではクーラーや扇風機、テレビなどをたくさん使ってしまうので心配でしたが、目標よりもはるかに少ない数値だったので安心しました。これからも節電・節水に気をつけて生活していきたいです。ゴミは絶対に出してしまうのですが、アルミ缶のお酒を控えてもらい、缶ジュースも買わないようにしていきたいと思います。これで3年間やってきて、生活を考えるよい機会だったと思います。

124)自分の体重の何倍もの二酸化炭素を排出していたのでおどろいた。少しでも二酸化炭素排出量を減らす努力をしていきたい。

125)部活でスポーツドリンクを飲むため、ペットボトルの消費が多かったです。

126)今回は家に人がいないことが多かったので、ゼロのものがありました。この夏は牛乳パックが多かったです。一方でペットボトルはあまり出ませんでした。このデータをもとに生活を家族と見直していきたいです。

127)抜けていた日もあったかもしれませんが、去年よりずっとよかったような気がします。節約もなかなか難しいと感じました。

128)目標よりも少なかったのがよかったと思います。これから地球温暖化が進んでいく中で、ゴミが増えてきているので、一人一人の意識を高くもって、自分たちが住んでいる地球のことを今まで以上に考えて生活していきたいと思いました。

129)部活動を引退した夏休みだったので、1年生、2年生の夏とはペットボトルやトレーの数が全然違っていました。その分、家に居る時間が長かったので、電気代、水道代が増えていました。

130)去年はレベルCだったが、今年はレベルDとなり全然ダメだった。日頃からの環境への意識が一年を通して足りなかったと思うので、今後はこの調査を生かして生活していき、せめてレベルBくらいまでにはしたいと思います。

131)目標の140kgを達成できず残念ですが、今回のみならず常に二酸化炭素排出量を意識した生活を送りたいと思います。

132)ゴミの量よりも、ガソリンの使用量で大きく数字が変わります。仕事でのガソリンの使用量も計上しているので、正確な一般家庭での計算になっていません。また、お盆、正月は里帰りで人数が増えるので、正確な数字は出ないのではないかと思います。

133)家族一人当たりの二酸化炭素排出量が多いと思った。夏は暑いのでペットボトルや缶のジュースをたくさん飲んで、これらのゴミを出し過ぎていた。もっとゴミを減らす工夫や節電・節水をしっかりして生活を送りたいと思いました。

134) 食生活の中で食品トレーが多く出るので、日々気がついてはいるのですが難しいです。各部屋でエアコンをつけることも去年と比べて多かったと思いました。改善すべきことが多々あると思いました。

135) この一ヶ月間でたくさんの二酸化炭素を排出しているということを感じました。一ヶ月だけの調査でしたが、年間で考えるとすごい量の二酸化炭素を排出していることになる。減らせるものから減らしていきたい。

136) 毎日このような記録をとることによって、個々の包装容器数の日ごとの変化がわかるので、期間中の全体の数をはっきりと知ることができる。夏休みだけではなく毎日行う習慣をつけていこうと思う。

137) 一ヶ月間やってみて、ペットボトルと食品トレーが多く、ガラス瓶が少ないと思いました。目標レベルを達成できなかったので残念に思いました。毎日の生活でたくさんの二酸化炭素が排出されていると感じました。家族全員でゴミを減らす工夫や省エネをする努力をしていこうと考えました。

138) ゴミを出さないように意識してもなかなか減りませんでした。冷蔵庫の設定温度を上げたのですが、4台も冷蔵庫があるので限界がありました。

139) 昨年より二酸化炭素排出量が減ったと思います。目標達成できて良かったです。

140) ペットボトルの消費量がすごく多いと思いました。ジュースは毎日飲むので消費量が多くなります。ガラス瓶は0本という結果でした。最近ではガラス瓶が紙パックに置き換わってきたのではないかと思います。自分の家の排出量がわかりました。

141) 大人ばかりの家族なので、1人に車1台ずつありガソリンが多くなります。毎日のことながら改めてゴミの多さにびっくりしました。ビールのアルミ缶やペットボトルはゴミ袋が何枚も必要になります。食品はほとんどトレーに入っています。きれいに洗ってリサイクルに出しています。ペットボトルもキャップ、ラベル、ボトルに分別して再利用できるように心がけています。

142) 夏の暑い日が続き、クーラーを多く使ってしまったので電力の数字が大きくなってしまった。

143) この調査をして3年目になりましたが、改めて地球温暖化について考えることができました。目標設定はレベルBでしたが、結果を見るとレベルCの160kgでした。一人当たりの二酸化炭素排出量が多かったと思います。これからの生活の中で気をつけようと思います。

144) 表を見るとペットボトルの消費量が多くみられる。また、ガソリンの使用量も多いと思いました。買い物の中にはペットボトルを減らす意識をもつ、近い所に行くときには車を使わない意識をもつ、このような生活の中での意識が大切だと思いました。

145) 私の姉が運転するようになり、ガソリンの使用量が一人分増えました。エコ運転を心がけてもらいたいと思います。また、一人当たりのペットボトルの消費数も非常に多かったので、マイボトルでの生活ができないかなと思います。

146) 数値にしてみると、思っていたよりも一人当たりの二酸化炭素排出量が多かったので、これからはもっと減らしていけるように意識していきたいと思いました。節電・節水やゴミの削減など家族みんなで頑張っていきたいです。

147) 思っていたよりも多くの二酸化炭素が排出されていておどろきました。家族にも確認して、できるだけ減らしていくように心がけていきたいです。

148) 夏休みに入りペットボトルの量が多いと感じました。大きいペットボトルで買って、それをマイボトルに注いで飲むようにすれば、本数を減らせると思いました。

149) 結果的には目標のレベルAだったのでよかったと思います。わが家はオール電化なので電力が少し多い気がします、電気のつけっぱなしが原因になっているということもあると思うので、節電を心がけたいと思います。部屋にいないときは扇風機を消すこと、少し暑くても我慢することが大事だと思いました。

150) 普段何気なく使っている生活に関わるいろいろなものが、数字にしてみると別のことがわかってくることがある。3年間やってみて、地球温暖化防止に向けて自分も少しは心がけることができるようになりました。この経験を生かし、今後の人生につなげていきたい。

151) 今年もこの調査をやってみて、やっぱり排出量が多いと思いました。特に灯油などの燃料の使用量が多いと思いました。計算が間違っていなければ、レベルDで排出量がすごく多いということなので、これから減らしていきたいと思いました。

152) 目標の140kgを大幅にオーバーしてしまったのでとても悲しかったです。少しでも家庭から出るゴミを減らすことができるようにしていきたいと思いました。

153)今回は去年より少なくしようと取り組んだのですが、去年よりも多くなったことにびっくりしました。今年はじめじめしたり暑かったりを繰り返して、冷房を多用したことが、一人当たりの二酸化炭素排出量を多くしてしまったと思います。今回の調査を生かして、これからはできるだけ節約して生活していきたいと思います。

154)たくさんの二酸化炭素を排出していると思ったが、目標通り達成できたので今後も続けていきたい。

155)計算してみるとかなり多く排出していることがわかりました。一ヶ月間で420kgも出ているとはびっくりです。来年からこの調査がないので気をつけながら生活していきたいと思います

156)昨年より二酸化炭素の排出量が少なくなってよかった。アルミ缶とペットボトルが減りました。食品トレーは多く出ましたがスーパーにリサイクルとして出しています。

157)自分の家は少ないと思っていましたが、ペットボトルなどがとてもたくさん出ていておどろいた。僕はこれから一人暮らしや大学生活の中で環境に気を遣って生活していきたいと思いました。

158)一日ごとにペットボトルなどの数を調べると、思っていたよりも数の多いものや少ないものがあった、自分の家のことがわかったのでよかったと思います。

159)資源ゴミは分別に気をつけているが、1人1台の車社会なので、どうしてもガソリンの排出量が多い。また、今年はジメジメした天気が多かったので、乾燥させるための電力が多かった。近くへ行くときはできるだけ歩くか自転車を利用するように心がけます。

160)一人当たりの二酸化炭素排出量が175kgという大きな数字が出てびっくりしました。これを見てもっと少ない数字で生活できるようにやっていきたいと感じました。

161)家で暮らしている人数が去年より一人減った分、全部少しずつ減っていることにびっくりした。

162)今回の宿題で改めて自分の家はどれだけゴミを出しているかを知りました。そして、その多さにおどろき、自分は地球のことを考えて来なかったと思いました。これからは地球温暖化について考え、ゴミを少しでも減らすように意識して、生活していこうと思います。

163)ゴミを減らすことは、なかなか大変だと実感しました。

164)このようなことを具体的に調べる機会は今までなかったが、いろいろとわかったのでよかった。表にすると包装容器の多さがよくわかった。これからも気をつけて生活していきたい。

165)普段気にしたことのないゴミを31日間見てみると、毎日飲む牛乳パック、父母の飲むビールや缶チューの数が多いことが改めて分かった。特にこの夏はのどが渇くのでしっかり給水していきたい。

166)食品トレーの数が多いことに気づきました。自分たちの意識で変わることだと思うので、変えていきたいです。アルミ缶も減らしていきたいです。電気のつけっぱなしやお湯の出しっぱなしにも注意して生活していきたいです。日常出されるゴミを数えることがなかったので、数がわかると自分たちの生活が見えてくるように思いました。

167)ペットボトルを一ヶ月間で152本も消費しているとは思わなかった。一人当たりの二酸化炭素排出量は156.1kgであった。レベルCということだが、地球のために少しでも減らしていきたい。

168)今年で3年目になります。なるべくゴミを出さないように気をつけていた結果、レベルBでした。これに満足することなく、これからもできることはやっていこうと思います。

169)今年の夏は、前半は猛暑、後半は大雨となり、飲料が多かったと思います。また、兄が社会人となり自家用車が1台増え、外食やスーパーマーケット食品も増えたので、昨年までと違う結果が出ました。地球温暖化は各家庭一つ一つにそれぞれ影響があると思うので、レベルCだったことを受け止め、今後の生活に留意したいと思います。

170)一人当たりの二酸化炭素排出量が120kgもあり、意外に多いと思いました。これから改善していきたいと思います。

171)結果的に目標を達成できたのでよかった。日々の生活を数字で表すと現実が見えてくる。今後もゴミのことを考えながら生活したい。

172)電力とガソリンの二酸化炭素排出量がかなり多いと思いました。レベルAだったので、排出量を抑えることができたと思いました。

173)調査してみて、もっと地球温暖化とゴミ問題について考えなければいけないと思いました。

174) 夏なので水分をたくさん取り、ペットボトルの数がとても多かった。食品トレーも意外に使っていたことがわかった。自分の家から一ヶ月間にどれだけゴミが出ているか知ることができた。

175) 日々の生活で省エネを意識して、二酸化炭素排出量の削減に継続して心がけたいと思います。

176) 生活に工夫しながら、二酸化炭素の排出量を減らすよう家族みんなで考えることにしたいと思います。

177) 自分の家の二酸化炭素排出量はレベルAに近く、全国平均を下回ったのでよかったと思います。私としてはもっと多いと思っていたので、少なくてよかったです。二酸化炭素は地球環境に悪いので、なるべく排出しないように工夫していきたい。

178) お弁当や総菜を買うとトレーの量が多くなる。しかし、日常のゴミ問題よりもこうしてみると、電力や灯油などの方がCO₂排出量を多くする要因なのと思った。日常のスイッチオン・オフは気をつけているつもりですが、消費電力の多い家電製品を少ない製品に買い替える、例えば照明をLEDに替えていくのも相当の経費がかかります。CO₂量は減るが、家庭の支出は増える。これがCO₂削減につながらない理由の1つなのかもしれません。

179) なるべくゴミを出さないように心がけていましたが、夏休みは部活動での飲料でペットボトルを多く使用しました。

180) 今までの生活で二酸化炭素の排出量を計ったことはなかったが、一ヶ月間調べてみて、一人当たりの排出量が改めてわかった。また、ペットボトルや食品トレーなど気づかないうちにこんな数になっていたとはびっくりした。

181) 部活動に毎日麦茶1Lと500mlのペットボトル2～3本、汗と引き換えに飲んでいました。仕方がないことかと思っています。毎日食べる肉、お惣菜にはトレーは付き物なので、ゴミを減らすのは大変なことですね。

182) 何も知らないで生活をしてきたが、こんなにCO₂が出ているとは知らなかった。一人一人の心がけで少しでも減らしていけるように頑張りたいです。

183) この調査をやってみて、こんなに消費して二酸化炭素を出しているのだと思いました。これからはあまりゴミを出さないように節約し、節電・節水にも気をつけていきたいと思います。

184)思った以上にペットボトルが多くてびっくりした。一ヶ月間だけでも一人187.8kgも二酸化炭素を排出していたので、少しでも減らせるように、これから気をつけていきたいです。

185)缶やペットボトルなどのゴミの量は、夏場の方が多く出ると思うが、意識して減らすようにすれば、少しでもエコにつながるのではと感じました。

186)自分では二酸化炭素をあまり排出していないと思っていたが、結果がレベルDとなり地球にやさしくない生活をしていたことがわかった。これからは自分だけではなく家族全員で地球にやさしい生活を送りたいと思いました。

187)去年よりも電力やガスなどの排出量が増えていたので、無駄使いしないように注意したいです。

188)思ったよりも多くの二酸化炭素が排出されていることがわかりました。できるだけ排出を減らせるように日々の生活を見直していきたいと思いました。

189)自分の家で一ヶ月、包装容器をどれだけ出すのかわかりました。排出係数をかけて二酸化炭素の排出を計算できてよかったです。これからは地球にやさしい生活環境を整えていきたいと思います。

190)想像以上に排出量が多かった。できるだけ節約を心がけようと思った。そうすればかかるお金も少なくなり、地球にもやさしく、一石二鳥だと思った。

191)一ヶ月間でどれほどの電力や水道水が使用されているのか、包装容器は何がいくつ出ているのかわかりました。目標のレベルBに少しだけ届かなかったので、来年の夏休みまでに目標に届くように頑張りたい。

192)この課題は2回目であり少しは意識して生活したが、結果の値はとても多く、現実を見た思いです。少しでも減らしていこうと意識した生活をしないかぎり、CO₂は減りません。これから意識しながら生活したい。

193)たんそくんシートは去年に続き2回目です。今年は圧倒的にペットボトルの量が多かった。ゴミを意識して減らしたつもりだったが、大していつもと変わらなかった。

194)今回の結果を全国平均と比べると、大幅に超えていることがわかりおどろきました。私の家は車を使っていろいろな家をまわる仕事をしているので、どうしても多くなってしまうですが、それ以外で削減していきます。

195) 地球温暖化とゴミ問題について調査してみて、どれだけ消費しているかわかりました。私の家族はスポーツ家なので、ペットボトルの消費がだんぜん多かったです。

196) 今回は昨年の全校平均以下となりました。これからもCO₂排出量を減らせるように努力していきたいと思っています。

197) 食品トレーの枚数が多かった。父と祖父が酒を飲むのでアルミ缶が多かった。もっと二酸化炭素を減らしたいと思いました。

198) アルミ缶が一番少なくておどろきました。全体の二酸化炭素排出量も意外と少なくておどろきました。夏休みが終わると記録をつけることもなくなりますが、これからも心がけていきたいと思いました。

199) ゴミ捨ては家の手伝いでやっているが、これだけ出ているとは知らなかった。全体の二酸化炭素排出量は少ないと思いました。

200) かなりの二酸化炭素を出してしまったことに気づきました。もっと環境を大事にしたいと思いました。

201) 私たちが便利で快適な生活を送るために、二酸化炭素を排出しています。これが地球温暖化の原因になっていることを意識しなければならないと思います。便利になればなるほどゴミも増えてしまいます。新しいものが出たら、古いものは捨てないでリサイクルに出すとか、省エネに気をつけるとか、家庭での一人一人のエコ精神で地球を守ることができるように取り組んでいきたいと思います。

202) 一ヶ月間毎日記録してきて、今まで何気なくゴミを捨てていたが、少し気をつけるようになった。一人一人が気をつけて毎日生活していけば、地球温暖化とゴミ問題が改善されていくと思いました。今回のことを無駄にせず、毎日気をつけていきたいです。

203) 前年度の数値が大きかったので、今年は意識的に取り組んだつもりでいたのですが、目標達成には至りませんでした。しかし、数値は下がっているので来年は目標達成できればと思います。

204) 夏休み期間ということもあってか、飲み物の消費が多く電力の使用がいつもより多いと感じました。

205) こうして数えてみると、かなり多いことがわかった。これから減らしていくように心がけたい。

206) 目標通りの結果でよかったと思います。夏はペットボトルの数が多いので、麦茶などを作って少しでも減らすように心がけました。電気も節約しようとこまめに消すなどして気をつけました。家族の協力があってこそ節約なので、声がけしながら目標に向かって頑張ることができたので良かったです。

207) 毎日部活動でたくさん水を飲むのでやっぱりペットボトルの数が多いと改めて感じました。また、移動のためガソリンもこんなに多く使っていることに気づくことができて良かったです。

208) 毎日調べてみて自分の家ではこんなに排出しているのだと思いました。もっと節約できるように家族と頑張りたいです。

209) 水筒を持参しても途中で足りなくなることが多いので、どうしてもペットボトルを買ってしまい本数が多くなってしまう。仕事で車を使用するようになり、ガソリン給油も増えています。

210) 電気、灯油、ガソリンが多い。都市部と田舎で二酸化炭素排出係数のとり方が一律で同じというのはどうなのだろうかと思った。

211) 自分が思っていた以上にゴミをたくさん出していることがわかった。これからはゴミをあまり出さないように工夫して生活していきたいです。

212) こうして毎日の記録を取り、私たちが排出している量を改めて知り、もっとエコに力を入れていきたいと思った。

213) スチール缶が思ったより少なくてびっくりしました。どうしても多くなってしまったのが食品トレーとペットボトルでした。あまり増やさないように注意していきたい。

214) 自分が思ったよりけっこう少なくておどろきました。CO₂排出量をもっと減らせるといいのかなと思いました。今まで排出量を調べたことがなかったので、いい経験になりました。

215) 一人当たり一ヶ月間の二酸化炭素排出量が、100kg以上となっていてびっくりしました。一ヶ月間だけで100kg以上の二酸化炭素が排出されるということにおどろきました。

216) 排出量が思ったよりすごく多くてびっくりしました。もっとエコな生活をしていきたいです。

217) 節約など意識せずに生活すると平均を超えてしまうことがわかった。電気や水道はこまめに止めて、少しでも住みやすい環境をつくることに関わっていきたいと思う。

218) 二酸化炭素排出量が平均よりも多かったのが、これからの生活を見直していきたいです。

219) 自分がこんなに消費していることにおどろきました。特に、ペットボトルが65本とはおどろきです。

220) 普段気にすることがなかった数値を見て、排出量を計算しました。いい経験になったと思います。こうして見ると、家の人がどれだけ苦労しているか、どれだけCO₂を排出しているかなど様々なことがわかりました。これからは節約など家族と共にがんばりたいと思いました。

221) 普段飲んでいる飲料水のペットボトルや缶が地球温暖化に影響しているとは思わなかった。今回の課題を通してゴミへの意識が高くなったので、良い勉強となりました。

222) ペットボトルの量がとても多くてびっくりしました。一人当たりの二酸化炭素排出量が127.04kgもあり、意外と多かったのですが、目標の全国平均以下を達成することができました。

223) 今まで普通に生活してきて、あまり気にしていなかったが、二酸化炭素排出量がけっこう多かった。牛乳パックとガラス瓶は1本も出なかった。ペットボトルは100本を超えた。

224) リサイクルできるペットボトル、牛乳パックを使っていきたい。数値化すると改善点も見えてきた。

225) 夏休みの間、暑い日が続いていたので冷房等を多く使っていたと感じました。これが原因で一人当たり一ヶ月間の二酸化炭素排出量が多くなったと思います。これからも暑い日が続くと思いますが、今回の調査をもとにできるだけ節約をして家族みんなで協力して生活していきたいと思います。

226) 家族の合計排出量がかなり多かった。こんなに排出しているとはおどろいた。今回の経験を生かしてもっと節水、節電につとめていきたいと思った。

227) 夏休み中の遠征の応援や送迎が多かったのが、ガソリンを多く使いました。水分補給のペットボトルも多くなりました。留守が多かったのが、水道やガスは少なかったと思いますが、初めてこのような調査をしてみて勉強になりました。節約やリサイクルなどやれることはやっていこうと考えさせられました。

228) 飲み物はけっこう多く飲んだ。電気、ガス、水道など自分で節約できることは自分でしていこうと思いました。電気のつけっぱなしがよくあるので、こまめに消していきたいです。

229) 改めて結果を見ておどろきました。アルミ缶、ペットボトル、食品トレーの多さにびっくりです。今まで何気なく消費していたものですが、今回調査してみて、自分の立てた目標をはるかに超えてしまったので、今後はゴミ問題を考えていきたいと思います。また、節電に関してももう少し数値を下げてみたいと思います。

230) 生活が便利になっている分、CO₂の排出量が多くなり、ますます地球温暖化に拍車がかかっているのだということを実感した。手間暇かけた生活によって心も安らかになり、地球にやさしい環境をつくっていけることを実感できた。

231) 一人当たりの二酸化炭素排出量が平均値より多く、おどろきました。アルミ缶及びペットボトルのゴミの量が多いので、少しでも減らせるように対策を考えます。エコ生活を心がけていきたいと思います。

232) 目標より少し排出量が多かったので残念でした。暑い夏の日、ペットボトルのジュースを飲む機会が多くなってしまい、ゴミの量が増えてしまった。

233) 自分たちが使ってきたものをこれまで考えたことがなかったのですが、今回気づくことができました。結果として、アルミ缶が63個というとても多い数字でおどろきました。今思うと、牛乳パックが0だったので、もっと牛乳を飲んで、カルシウムを摂りたいです。

234) 目標はBでしたが、結果はDとなり、最低ランクだったのでおどろきました。この課題を通して二酸化炭素排出量を減らせるように努力していかなければならないと思った。エコな生活をしていきたいと思います。

235) 燃えるゴミとプラゴミの袋を大きいものから小さいものに変えてみたら、ゴミの量が減ったように思います。ゴミ袋が大きいと捨てることの罪悪感がなくなってしまう。また、これからはなるべく節水に心がけていこうと親子で話をしました。CO₂の排出量を実際の生活の中で、数字で理解することができたので、よい経験になったと思います。

236) はじめてこのような調べ方をしてみたが、自分の家庭の場合はガスや灯油を使わないので、レベルCに収まったが、もし、使っていたとするとかなり多くなってしまったであろう。地球温暖化が進行しているので、もっと考えて生活していこうと思う。

237) 毎日数えなければならなかったのも、とても面倒でつかれましたが、終わったときの達成感はとても大きく、よい経験ができたと思います。

238) 6人家族でこんなに多くのペットボトルやトレーが出ると知ってとてもびっくりしました。何気なく使っている水道や電気もこんなに使っていたのかと思いました。ガソリンも親がこんなに使っていたのかと思いました。

239) 私は部活動で水分をかなり摂るので、ペットボトルを1日に3本以上は消費し、一ヶ月で208本も消費しているのにびっくりしました。思ったよりかなり多かったので工夫して減らしたいと思います。

240) 毎日何気なく過ごしていましたが、今回の取り組みのおかげで、生活の見直しやエコに関する興味が増えてきました。今後の生活に目を向け、エコに取り組んでいきたいと思います。

241) はじめてCO₂の排出量を算定して、一ヶ月間だけでもこんなに排出していることにおどろきました。これからはCO₂の排出量に気をつけて生活していきたいと思いました。

242) 一ヶ月でこんなにゴミが出るとは思わなかった。食品トレーよりペットボトルの方が多いと思っていたが、逆だった。一人当たり一ヶ月の二酸化炭素排出量がとても多かったです。9月からは節電、節水を心がけて、ゴミをあまり出さないように生活したい。

243) 家庭における一ヶ月の二酸化炭素排出量が656kgも出ていることがわかり、とてもびっくりしました。ペットボトルの数がものすごく多かったが、私が一番多く使っていた。また、ガソリンは気にしたことがなかったので、調べることができてよかったです。

244) アルミ缶とペットボトルがとても多いということがわかりました。いつもは何気なく使い終わって捨ててしまうものを調べて記録すると一日にどれだけ使うのかがわかってとてもいいと思いました。電力とか水道ははじめて使用量を知ったので、自分の家はこんなに使っているのかと思うとびっくりでした。

245) 今回この計算をしてみて、一ヶ月ですごい量を使っているのだと思いました。私の家は家族が多いので、電力や水道などたくさん使っていました。

246) 夏休みの期間、この宿題をやってみて、牛乳パックとスチール缶は全く消費されず、ガラス瓶と食品トレーの消費量が多いことがわかりました。ガラス瓶は毎日出されていました。

247) 二酸化炭素の排出量は、ガソリンがすごく多いことがわかりました。また、毎日のようにペットボトルや食品トレーが多く使われていることがわかりました。できるだけ二酸化炭素を排出しないように気をつけていきたいと思います。

248) ガソリンの排出量がかかなり多かった。あんなに車が走っているわけだから、多くの二酸化炭素が出ているのだと思った。

249) 家族が多いので二酸化炭素排出量が多かった。兄と私はスポーツをしているので、ペットボトルが多かった。牛乳もたくさん飲んでた。毎日記録をつけるのは大変だったが、気づいたことがたくさんあったのでよかった。

250) 二酸化炭素排出量が全国レベルを大幅に超えていたので、今日から少しずつ節約して、削減できるように家族みんなで頑張りたいです。

251) はじめて自分たちが日々使っているものを記入してみた。下宿で人数も多いから、一般家庭よりは多いと思うが、けっこう気を遣っていると思う。これからもっと気をつけていきたい。

252) アルミ缶とペットボトルの使用量が多くてびっくりしました。普段二酸化炭素の排出量を調べることもなかったが、今回の夏休みの宿題でどれだけ使用したかわかったのがよかったです。

253) 今回はじめてやってみて、自分の家族がどれだけ排出しているのかわかったのがよかったです。また、目標をオーバーしてしまったので、次はがんばりたいです。

254) はじめてこんなにくわしく調べてみて、使用量がすごいと思いました。電力など使用した分だけお金がかかることを考えると、無駄使いをしないように気をつけたいと思いました。

255) 一ヶ月でペットボトルがこんなに出ているのだと思いました。二酸化炭素排出量も意外と多かったのでびっくりしました。この調査をすることで、一ヶ月間の二酸化炭素排出量を算定することができ、一人当たりの排出量もわかったのがよかったと思います。

256) 一人当たり一ヶ月の二酸化炭素排出量が187kgという結果になりおどろきました。アルミ缶の数が多いのは、大人がビールをたくさん飲むからです。その他のゴミも減らしていきたいです。

257) 思ったよりペットボトルが出ていた。いつもは電力の伝票など見ていないので、一ヶ月の料金をはじめて知ることができたので、いい体験でした。

258) 一人当たり一ヶ月の二酸化炭素排出量がとても多くてびっくりしました。地球温暖化が問題になっているときに、こんなに二酸化炭素を出していて、とても申し訳ないような気持ちになりました。もっと減らさなければならぬと思いました。

259) 水分補給の夏ということもありペットボトルの数が多かった。一人で266kgの二酸化炭素を排出していた。今回の調査をきっかけにして改めて普段使っているものや買っているものがわかってとても良かったです。これから少しでも減らす努力をしていきたいです。

260) 思った以上に使っていてびっくりしました。電力や水道など普段気にしないところに気づくことができてよかったです。夏休みで妹たちも休みなので、エアコンの使用も多く、電気料金、水道料金など普段よりも高いと親が言っていました。また、ペットボトルなども思った以上に多くてびっくりしました。これからは節約をして、毎日過ごしていきたいです。

261) 自分たちが普段使っているもので、これだけの二酸化炭素を排出していたと知っておどろいた。地球環境について興味をもったので、これから調べて行動していきたいです。

262) 今まで何気なく捨てていたゴミがこの一ヶ月で本当に大量に出されており、二酸化炭素の排出量にも非常に問題があると感じました。これからはできるだけ自分たちの環境を守れるように、しっかり心遣いをして生活していきたいと思います。

263) 一人当たり一ヶ月の二酸化炭素排出量が100kg以上であるということにとってもおどろきました。目標にしていた140kgを超えずに一ヶ月過ごすことができたので良かったです。来年はレベルAの110kgに近づけるようにがんばりたいと思います。

264) 我が家から出る二酸化炭素の量やゴミの数量をこんな具体的な数字で見たことがなかったので、とても興味深かったです。家が古いので、ほかの家よりも電気代がかかるということは知っていましたが、ここまでとは思いませんでした。これを機会に日ごろの生活を見直して気をつけていきたいです。

265) 自分たちの日常生活の中でこんなにゴミが出ていることにおどろいた。特にペットボトルが多かった。

266)これだけ使っているということは、それだけお金を払っているということであり、両親が汗水流して仕事をして買ってくれたので、改めて感謝しています。

267)一ヶ月間二酸化炭素の排出量を調べてみてとても難しいのですが、一人当たり148kgも排出していてとてもびっくりしました。これから減らしていく努力をしていきたいと思いました。

268)今回二酸化炭素の排出量を調べてみて、一人当たり150kgも排出していることがわかり、とてもおどろきました。これからの生活で少しでも二酸化炭素排出量を減らして、地球にやさしい生活を送っていこうと思います。

米沢中央高等学校

理科

〒992-0045 山形県米沢市中央7丁目5-70-4

TEL 0238 - 22 - 4223

FAX 0238 - 22 - 4224

2018年2月